

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		障害児通所支援なんてん（児童発達支援）				公表日	2026年 2月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	5		もう少し広いスペースがあるといい。放デイ児がいるとゆとりがなくなる時がある。休校日は狭く、危ない。場所分けなど。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	5	2	個々の特性によりマンツーマン支援となる為、配置を工夫している。	利用者によって適切ではない時もある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	バギーで動き回れるような構造になっている。	一人一人の特性に合った環境を考えていきたい		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			環境面・安全性に配慮を行ってきたい。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7	今はワンフロアの為、簡易的な仕切りで空間を仕切ることを必要に応じて行っている。パーテーション。	個別部屋やそのような空間がなかなか作れない。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2		職員会議への参加人数を増やし、認知度をたかめていく		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		把握する機会はあるが、改善までできていない。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	定期的な面談がある。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	他事業所の職員によるSSチェック（整理・整備・清掃・清潔・狭）を実施。	改善が必要。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	積極的に参加を募っている。	社内や外部研修を活用していきたい		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			公表しております		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		定期的に行っている。	分析できているかは検討課題。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		定期的なケア会議を行い、支援者それぞれの視点からの話し合いを行っている。	少ない時間の中で有効な話し合いを行えるようにしたい		
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		半年以内に見直しを行っている。	支援内容を考慮していく		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	個別に具体性を持ったアセスメントのためのシートを作成。	フォーマルを実施できるスタッフがいないか、実施できる時間が少ないか。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		具体的に分かり易い内容で作成していくよう心掛ける。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		毎月会議で話し合っていて決めている。昨年度の活動や、SNSで他事業所の活動を参考にしている。	スタッフ全てで関わることができるよう努めたい		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		行ったことのない活動（外出、トランポリン）など工夫した。	一人一人に合った支援内容を模索していきたい		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			今後も意識して取り組んでいく。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	朝礼やスタッフLINEを活用して確認、取り組んでいる。	職員間で会議を増やしていけたらと思います		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	業務日誌や経過記録で、パート勤務でも把握できる。	各々就業時間が異なるため困難ではあるが、日々経過記録の記載に努め、今後の取り組み方法も考えていきたい		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			検証や改善点にも着目していきたい		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			モニタリングを踏まえ利用者保護者と相談を重ねていけるよう取り組んでいきたい		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			今後も定期的に相談員にも参加して頂き、多角的な視点で検討していけたらと思います		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		常に連絡・連携が取れる様に、体制を整えている。	注意すべき点が発生した場合、情報交換をしていただけている。我々も連携を意識して支援に当たりたい。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		情報共有を行ってきたい。		

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	要望がある場合には応じている。	情報共有を行ってきたい。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3		助言を受けるなど、積極的に活用していきたい。 情報交換は行っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	児童館などを利用して地域の方と関わる機会がある。 公園やイベント参加時。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			言葉の壁や、それぞれが大切にしていることの違いなど、共通理解が難しい場合もある。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	相談などには誠実に応じている。	家庭や両親にも助言や相談などができるように検討課題とする。	
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			今後も変更などがある場合や質問がある場合にはきちんと丁寧に説明をしていきたいと思えます
		36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			今後も保護者に分かりやすい説明や支援方法をお伝えできたらと思います
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			今後も保護者に分かりやすい説明や支援方法をお伝えできたらと思います	
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			保護者さんにもっと寄り添いサポートができればと思います	
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	親子遠足を年1回計画。	縦のつながりや、同じ環境・年齢での交流を増やせるとよい。 親子遠足では顔を合わせるが、交流までは？	
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			人員確保などより良い体制作りをします	
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		インスタグラムの更新。	もっと早めに計画・予定をお知らせし、利用を楽しみにしていただけたらと思います	
42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		SNSに載せても良いか等、確認している。	振り返りや注意喚起を行います	
43		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			もっと配慮やスキルをあげていきたい	
44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	ボランティアで地域の方に読み聞かせをしてもらっている。	地域の方々にも知っていただけるような工夫をしていきたい	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		ご家族がマニュアルを見る機会はない。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		計画の策定、定期的に避難訓練を実施。防災・保全課を社内立ち上げて取り組んでいる。		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		利用時は保護者より事前確認を行い、全スタッフに共有している。		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		重症なアレルギーの子はいませんが、今後再確認を行う。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成、訓練に繋がっています。		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	医療的ケア児は酸素や非常食の預かり、オムツ使用児はオムツをバックで預かり備えるようにした。	周知していきます	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		事業所内と社内で共有している。	ヒヤリハットやアクシデントを解析し次に繋がるような取り組みの改善をおこなってきたいと思います。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		市などで行われる研修に多数職員が参加。社内でも展開し、全職員に周知している。		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		事前の説明を丁寧にやっていく。	